

# 美髪に導く天然由来のポリマーと コンディショニング剤を紹介

DOC Japan



大川社長

パーソナルケアやホームケア用途の原料を開発・提供しているDOC Japanでは、CITE JAPAN 2023で、天然由来機能性ポリマーの「DOCSTARCH Plus」(以下、ドックスターチ)と、天然由来コンディショニング剤「DOCSI Feel」(以下、ドクシルフィー)の美髪に導くダメージケア原料を軸に、天然由来ポリマーの新たな使

い方を提案した。ドックスターチは、ジャガイモデンプン由来の水溶性ポリマーをカチオン化したもので優れた指通り性をもたらすほか、泡質の改善効果が確認されている。機能面ではこのほか、毛髪のメラニン流出を防ぐことにより、

空洞化による毛髪のダメージ進行も防ぐという。また、ドックスターチに天然由来多糖類のセルロースを由来とするコンディショニングポリマーの「DOCUAT」(ドククオト)10(ポリクオトニウム10)を組み合わせて、アミノ酸系界面活性剤をベースとしたシャンプーに配合することで、きめ細かく弾力のある泡で毛髪と肌を優しく洗浄し、さっぱりとした洗いがり

を実現するという。「ニーズが高まっているアミノ酸系界面活性剤は、配合量を増やすとぬるつき感が出てしまうといった課題があった。それに対し、ドックスターチとドククオトを組み合わせたことで、アミノ酸系界面活性剤の課題であるぬるつき感を軽減し、さっぱりとした洗いがりが可能になる。カネタさんと共同開発し、アミノ酸系界面活性剤のベースを変えずにポリマーを組み合わせることでシャンプーの質感を変えることが、昨年の特許取得し、今展示会でアピ

ールすることができた(大川彰子社長)。ドクシルフィーは、ツバキ種子油やマカデミア種子油など6つの天然由来成分を使用したコンディショニング剤で、傷んだ髪の水溶性を回復して毛髪をケアするほか、頭皮に潤いを与えて健康な地肌へと導くという。「洗い流した後もコンディショニング性を発揮するドクシルフィーは、グローバルで特許を取得しており、今回のCITEでダメージケア原料においてシリコン以外の新たな選択肢の1つとして提案した(大川社長)。